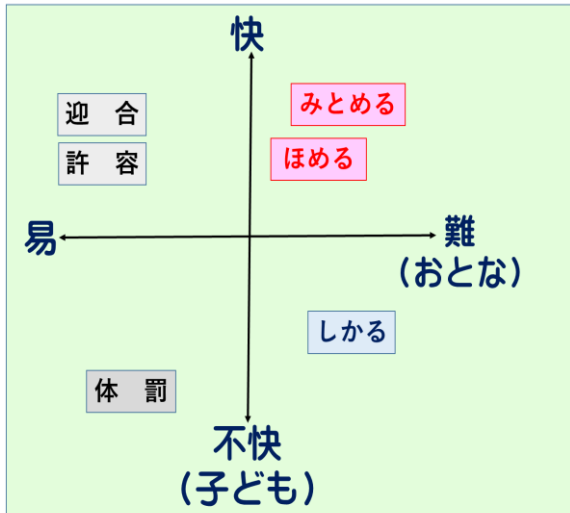


## 教育の危機管理

子どもが育つには、おとなのかかわりが不可欠です。子どもからすれば重要なのは、実際誰がかかわりをもってくれるのか、その中身は何なのかです。かかわりの中でも、「ほめる」と「しかる」ことは大切といわれます。もう一つ「みとめる」という関係が、重要な要素ではないでしょうか。  
(週刊教育資料抜粋)



石川



教育雑誌に目を通していると、左図を見かけました。説明によるとおとなの子どもへのかかわり方がどこに位置づけるのかを表したものだそうです。

縦軸は子どもにとって快か不快か、横軸はおとなにとってかかわりが易しいか難しいかを表しています。

子どもの問題行動は、育てるチャンスです。放置や許容は育てる関係ではありません。迎合も子どもにとって快ですし、おとなにとっても易いことですが、成長にはつながりません。体罰はもつてのほかです。おとなが子どものためを思って行うといいますが、子どもにとって不快であるだけでなく、心身に深い傷を負わせます。

「ほめる」ことは肯定的評価ですから、子ども、おとなとも快です。それを成長につなげられるかどうかは難しいところです。「ほめる」ことは、ほめられる側の手応え感と合致すれば、得心となり、さらなる意欲へとつながります。

「しかる」ことは否定的評価ですから、子どもにとって不快です。また、しかる側もいい気持ちがするものではありません。そこで大切になるのが、子どもの成長につながる適切なしかり方かどうかという点です。これは「ほめる」以上の難しさがあります。

「ほめる」と「しかる」以上に重要で難しいのは「みとめる」という行為です。「みとめる」には2つ意味があるそうです。1つは共感的傾聴、もう1つは行ったことを正当に評価することです。ご家庭でも実践してはいかがでしょうか。



「怒る」と「叱る」の根本的な違い

- 「怒る」とは、怒り手の感情を外に爆発させること
- 「叱る」とは、相手によりよい方法を教示すること（冷静）

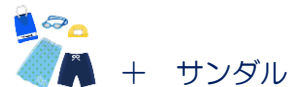
といわれています。

### お知らせ

#### 【 これからの行事・活動について Part II 】

- 水泳学習を6月29日(月)から実施します。

※ 必ず記名をお願いします。



+ サンダル



※ 本年度の地区水泳記録会、香川県水泳大会は中止が決定しています。ただし、泳ぎの苦手な児童を中心とする水泳の特別練習を7月1日以降、週3回(月、火、木)の実施を考えています。

(下校時刻は、17時です。)

- 麻校区盆踊り大会(8月12日)は中止です。
- 修学旅行(6年)は、当初予定していた宿舎が変更になり、12月上旬に延期しました。
- 集団宿泊学習(5年)も10月下旬に延期しました。
- 地区陸上記録会(10月6日：丸亀競技場)は、開催の予定です。
- 学習発表会(11月15日)は、実施で検討中です。

まだ先のことではありますが、お知らせしておきます。学校としては、子どもたちにとって楽しみにしている行事や活動をぜひ体験させたいという気持ちと、「終息宣言」や「安全宣言」が出されていない以上、子どもたちの安全・安心を最優先に考えなければならないという思いの中で、他校の状況や市教委の指示・助言をもとに検討を重ねています。

保護者の皆様とともに、子どもたちの健やかな成長を願って教職員全員で取り組みますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

6月22日(月)は給食がありませんので、お弁当の準備をお願いします。